



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	22,351	12.3	1,239	2.7	1,157	△2.9	642	△14.4
30年3月期第1四半期	19,895	24.8	1,207	109.3	1,191	43.6	750	30.8

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 738百万円 (△15.1%) 30年3月期第1四半期 869百万円 (50.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	79.88	—
30年3月期第1四半期	94.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	59,492	34,261	51.0	3,772.17
30年3月期	58,126	33,915	51.8	3,748.40

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 30,370百万円 30年3月期 30,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	45.00	60.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	7.9	5,000	△17.5	5,100	△13.5	3,200	△12.0	398.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	8,867,000 株	30年3月期	8,867,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期1Q	815,776 株	30年3月期	829,176 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	8,040,729 株	30年3月期1Q	7,969,578 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国と中国を中心に、堅調に推移しましたが、米中の貿易摩擦に端を発する保護貿易政策が台頭し、先行きは、不透明な状況になりました。わが国経済は、引き続き緩やかな上昇局面にあり、企業物価は上昇し、企業の設備投資も旺盛でした。当社グループ(当社及び連結子会社)の主要原材料である銅の建値は、トン当たり80万円前後で推移しました。運賃などの経費や、資材や部品などの仕入価格は、軒並み上昇しました。また、労働力市場は、逼迫したままで、実質的に完全雇用の状態にありました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、銅相場が前年同四半期と比較して高い水準であったため、売上高は223億51百万円(前年同四半期比12.3%増加)となり、営業利益は12億39百万円(同2.7%増加)となりました。経常利益はデリバティブ損失が58百万円、デリバティブ評価損が69百万円発生(前年同四半期はデリバティブ評価損66百万円)したため、11億57百万円(同2.9%減少)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億42百万円(同14.4%減少)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①伸銅

伸銅事業では、販売量は2万7,574トン(前年同四半期比0.4%減少)、売上高は190億53百万円(同12.3%増加)となり、セグメント損益は8億96百万円(同8.5%減少)のセグメント利益となりました。

②精密部品

精密部品事業では、売上高は11億円(前年同四半期比7.9%増加)となり、セグメント損益は50百万円(同139.3%増加)のセグメント利益となりました。

③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は21億97百万円(前年同四半期比15.6%増加)となり、セグメント損益は2億29百万円(同69.1%増加)のセグメント利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は427億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億28百万円増加しました。これは主に現金及び預金が3億62百万円、受取手形及び売掛金が4億24百万円、たな卸資産が5億22百万円増加したことによるものであります。固定資産は167億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加しました。この結果、資産合計は594億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億66百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は228億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億92百万円増加しました。これは主に未払法人税等が11億7百万円減少したものの、短期借入金17億40百万円、未払金が3億円増加したことによるものであります。固定負債は23億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加しました。この結果、負債合計は252億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億20百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は342億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億46百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が6億42百万円であったことと、期末配当3億98百万円を行なったことによるものであります。この結果、自己資本比率は51.0%(前連結会計年度末は51.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	801	1,163
受取手形及び売掛金	24,995	25,420
商品及び製品	5,461	5,504
仕掛品	5,472	5,757
原材料及び貯蔵品	4,552	4,745
その他	291	210
貸倒引当金	△98	△99
流動資産合計	41,475	42,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,199	10,248
減価償却累計額	△4,845	△4,923
建物及び構築物(純額)	5,353	5,325
機械装置及び運搬具	20,517	20,838
減価償却累計額	△18,229	△18,409
機械装置及び運搬具(純額)	2,287	2,428
土地	6,508	6,530
建設仮勘定	155	124
その他	1,554	1,590
減価償却累計額	△1,348	△1,368
その他(純額)	205	222
有形固定資産合計	14,511	14,631
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	212	236
その他	20	20
無形固定資産合計	232	257
投資その他の資産		
投資有価証券	1,416	1,427
退職給付に係る資産	26	26
繰延税金資産	404	389
その他	258	255
貸倒引当金	△199	△199
投資その他の資産合計	1,907	1,899
固定資産合計	16,650	16,789
資産合計	58,126	59,492

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,746	7,020
短期借入金	10,740	12,480
未払金	119	419
未払費用	800	736
未払法人税等	1,480	373
賞与引当金	921	379
設備関係支払手形	444	555
その他	604	886
流動負債合計	21,858	22,851
固定負債		
長期借入金	279	279
繰延税金負債	401	402
再評価に係る繰延税金負債	280	280
引当金	29	29
退職給付に係る負債	1,112	1,142
その他	247	243
固定負債合計	2,352	2,379
負債合計	24,211	25,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,339	4,339
利益剰余金	23,224	23,467
自己株式	△856	△843
株主資本合計	29,464	29,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	116
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△26	△30
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	664	649
非支配株主持分	3,786	3,890
純資産合計	33,915	34,261
負債純資産合計	58,126	59,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	19,895	22,351
売上原価	17,648	20,063
売上総利益	2,246	2,287
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	267	266
給料及び手当	261	278
退職給付費用	11	6
その他	498	496
販売費及び一般管理費合計	1,038	1,048
営業利益	1,207	1,239
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	13
デリバティブ利益	27	—
デリバティブ評価益	—	14
その他	37	45
営業外収益合計	81	74
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	11	11
デリバティブ損失	—	58
デリバティブ評価損	66	69
その他	17	15
営業外費用合計	97	157
経常利益	1,191	1,157
特別利益		
固定資産売却益	—	0
補助金収入	29	20
特別利益合計	29	20
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	—	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	1,220	1,173
法人税等	391	423
四半期純利益	828	749
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	107
親会社株主に帰属する四半期純利益	750	642

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	828	749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△8
為替換算調整勘定	△2	△3
退職給付に係る調整額	22	0
その他の包括利益合計	40	△11
四半期包括利益	869	738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	783	627
非支配株主に係る四半期包括利益	85	110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	16,974	1,019	1,901	19,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,034	15	0	1,050
計	18,008	1,035	1,901	20,945
セグメント利益	980	21	135	1,137

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,137
セグメント間取引消去	210
全社費用	△139
四半期連結損益計算書の営業利益	1,207

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	19,053	1,100	2,197	22,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,118	16	0	1,135
計	20,171	1,117	2,198	23,486
セグメント利益	896	50	229	1,176

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,176
セグメント間取引消去	199
全社費用	△136
四半期連結損益計算書の営業利益	1,239

(重要な後発事象)

該当事項はありません。